

久留米県土整備だより 第38号 (令和8年5月発行)

表面

県道八女香春線ラウンドアバウト (高見交差点) 完成式が行われました！



令和8年2月撮影



令和8年1月撮影

うきは市浮羽町高見の高見交差点は、これまで県道八女香春線、県道保木吉井線、そして市道二路線が交差する変則的な六差路であり、その複雑な形状から事故が多く発生しておりました。

このような状況を改善するため、平成28年度より交差点改良事業に着手し、およそ10年の時を経て、筑後地域初となるラウンドアバウトとして完成いたしました。

これにより、安全性が向上しただけでなく、信号がなくなり、待ち時間のないスムーズな通行が可能となっています。

この完成を記念し、うきは市主催による完成式が、令和8年2月28日(土)に執り行われました。完成式では、地元の御幸地区自治協議会わんぱくクラブによる「みざれ太鼓」が披露され、くす玉割りには大石小学校の児童にも協力していただきました。

「ラウンドアバウト」とは、円形の平面交差点で、円形内は時計回りの一方通行となる交差点です。通行は、時計回りが優先となり、車両は交差点内に徐行で流入します。横断歩行者や交差点内に通行車両がなければ、一時停止なしに流入することができます。円形であるため、車両速度が抑制され、事故件数の減少や、赤信号による待ち時間が無くなるため、アイドリング時間が削減され、環境負荷の軽減になります。

県道甘木田主丸線の 新しい両筑橋がつながりました！

久留米市田主丸町に位置する両筑橋は、昭和31年に筑後川に架設されて以来、長年にわたり地域の交通を支えてまいりました。

しかし、老朽化が著しく、平成27年度から架替え事業に着手しています。

令和3年度から橋桁の架設工事が開始され、昨年10月に新しい橋が無事に接続しました。

今後は、残る橋梁上部工や取付道路工などの工事を進め、早期の開通を目指します。



令和7年10月撮影

池町川地下調節池（けやき通り）の 本体工が令和8年2月に完成しました！

金丸川・池町川流域では、度重なる大雨災害に対応するため、浸水対策事業を進めています。

この度、久留米市中央町で建設中の池町川地下調節池本体工が令和8年2月に完成しました。

この地下調節池は、24,000m³（25mプール80杯分）の水を貯める能力を持っており、豪雨時に河川の水を一時的に貯留し、浸水被害の軽減を図ります。

今年の梅雨時期（6月）から地下調節池の本格運用を開始する予定です。

道路復旧工事については、令和8年度末（2027年3月末）に完了できるよう工事を進めてまいります。



令和8年2月撮影

←完成した地下調節池の内部の様子

千之尾川と内浦口谷川で1基目の 砂防ダム本体が令和8年3月に完成しました！



←千之尾川砂防ダム



←内浦口谷川砂防ダム

令和5年7月の豪雨で被災した久留米市田主丸町の千之尾川と久留米市草野町の内浦口谷川では砂防事業を進めています。この度、それぞれの河川で建設中の1基目の砂防ダム本体が令和8年3月に完成しました。

砂防ダムは、土石流や流木等を捕捉し、土砂災害から地域の住民の生命と財産を守る重要な役割を担います。

引き続き、千之尾川は2基目の砂防ダム本体工事に着手します。また、内浦口谷川は本体工事に着手するための進入路工事を進め、両河川ともに事業の早期完成を目指します。

「ふくおか水もり自慢」にて 「巨瀬川の環境学習会」の事例発表を行いました！

令和8年3月15日に久留米大学にて、「ふくおか 水もり自慢！（第22回）inくるめ」が開催されました。

当所からは河川砂防課河川係の職員が参加しました。

事例発表では、地域の子供たちが巨瀬川の豊かな自然環境を学ぶ「環境学習会」について発表しました。

官民を問わず、様々な団体と活動を共有することで河川に対する意識を高める有意義な一日となりました。



住所：久留米市合川町1642番地の1 久留米総合庁舎 本館 2階（建築指導課は立駐棟1階にあります）

（ご案内）

データでご覧になりたい方は、横のQRコードを読み込んでください。福岡県HPへアクセスできます。



【発行元】

福岡県久留米県土整備事務所 企画班
TEL：0942-36-6304

E-mail：Kurume-kikakuhan@pref.fukuoka.lg.jp

本号発行日：令和8年5月（不定期発行）

